

新・ふるさと探訪 シリーズ「島」 第3回

今治市 しま 小島

7
JUL / 2020
vol. 280

● 特集 「創造的自己改革の実践」
 ● 第8次中期計画令和元年度年次報告
 ● 新・ふるさと探訪シリーズ「島」 今治市「小島」



菊間茄子部会の皆さん



将校地下室跡



砲台レプリカ



小島は周囲約3キロ、標高100mの島。元禄時代に近くの来島から移住して開拓しました。いずれも来島村上水軍の末裔と言われていいます。現在の人口は6戸7人(令和2年5月末、今治市住民基本台帳人口統計)



遊歩道から見た来島海峡大橋



波止浜港と来島、小島、馬島を結ぶ定期船「くるしま丸」



案内板



棒で囲まれた遊歩道

小島は、くるしま海峡大橋のすぐ近くに位置します。小島へは、波止浜港から定期船に乗り約10分まで到着。港を降りてすぐ左へ進むと大砲(レプリカ)が見えてきます。これは、NHKドラマ、坂の上の雲のロケで実際に使用された28センチ榴弾砲(りゅうだんほう)です。

小島には、明治中期に砲台をはじめ、司令塔、火力発電所、探照灯、地下兵舎、弾薬庫などが建設され、芸予要塞と名づけられました。これは、広島県の大久野島とともに日露戦争を想定して築造された海岸要塞です。これらの施設は実際には日露戦争で使用されることがなく役目を終えました。未使用のままだったため、島内に散在した施設の多くの建造物がほぼ原形をとどめています。放置されて100年以上が経過しますが、保存状態が非常によいことに気づきます。

現在では、遺跡をまわる遊歩道が整備され、その周囲には椿が植えられています。この島にもイノシシが暴れ回った痕跡が多く散見されたのに驚きました。



